

2011年3月期 第3四半期決算概要

ルネサス エレクトロニクス株式会社

2011年1月28日

取締役執行役員常務 小倉 和明

(本プレゼンテーションに関する注意)

本資料における前連結会計年度(2010年3月期)の業績数値は、旧NECエレクトロニクス(株)と旧(株)ルネサス テクノロジの前連結会計年度の業績数値を単純合算したものであります。なお、「売上高」および「半導体売上高」については、旧NECエレクトロニクス(株)の表示方法と整合させるために旧(株)ルネサス テクノロジについて一部組替表示しております。

(将来予測に関する注意)

本資料に記載されているルネサス エレクトロニクスグループの計画、戦略および業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づきルネサス エレクトロニクスグループが判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与える重要な要因としては、(1)ルネサス エレクトロニクスグループの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、(2)市場におけるルネサス エレクトロニクスのグループ製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、(3)激しい競争にさらされた市場においてルネサス エレクトロニクスグループが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、(4)為替レート(特に米ドルと円との為替レート)の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

エグゼクティブサマリー

- 第3四半期は、原価率改善および統合シナジー・製品ポートフォリオの見直しによる研究開発費効率化により営業損益は増益。
- 通期で70億円の営業利益の達成を目指す。

I. 2011年3月期 第3四半期決算概要

2011年3月期 第3四半期(10-12月期)決算概要

- 第3四半期の売上高は、前四半期比7%減収
- 営業損益は、原価率の改善や研究開発費の効率化により増益

(単位:億円)	2011年3月期		
	第3四半期	第2四半期	前四半期比
売上高	2,752	2,954	△203
半導体売上高	2,444	2,635	△191
営業損益	34	11	+23
経常損益	11	△43	+53
当期純損益	△176	△82	△94
1US\$=	83円	88円	5円高
1ユーロ=	112円	111円	1円安

2011年3月期 第3四半期半導体売上高(前四半期比)

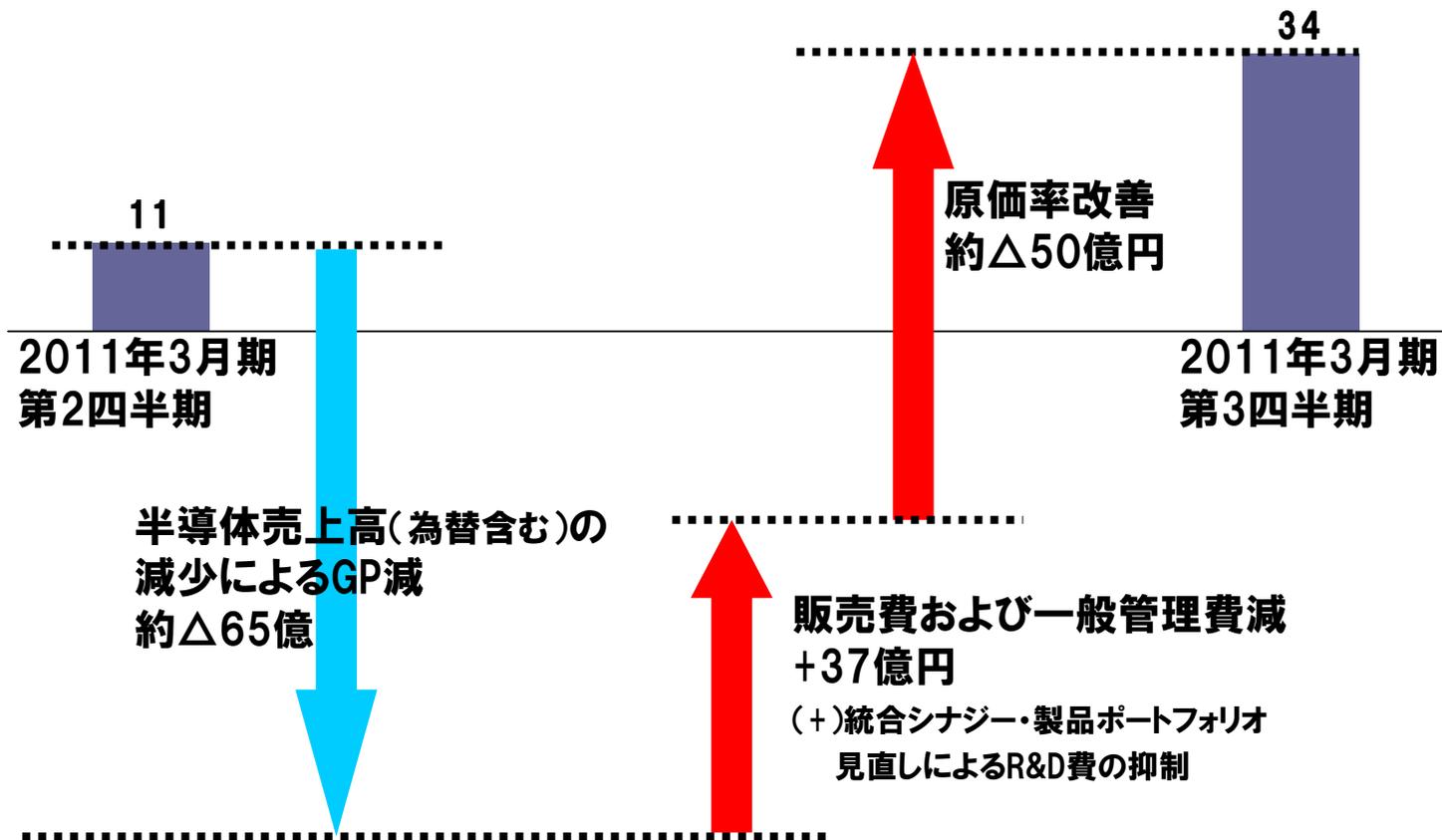
- 海外市場は堅調だったものの、国内市場における民生機器などの需要が減少し、アナログ&パワー半導体とSoCが減収

(単位:億円)	2011年3月期		
	第3四半期	第2四半期	前四半期比(%)
半導体売上高	2,444	2,635	△7%
マイコン	939	959	△2%
アナログ&パワー半導体	730	835	△13%
SoC	761	832	△9%
その他半導体	15	9	

2011年3月期 第3四半期営業損益(前四半期比)

■ 第3四半期の営業損益は、前四半期比で増益

(単位:億円)



GP: (Gross Profit) 粗利益

バランスシート

(単位:億円)	10/4期首 (増資後)	10/9末	10/12末
総資産	12,154	11,627	11,513
うち 現金および現金同等物	3,377	3,318	3,343
うち たな卸資産	1,266	1,359	1,440
負債合計	8,017	7,992	8,084
うち 有利子負債	3,720	3,744	3,667
株主資本	4,210	3,798	3,622
純資産合計	4,136	3,635	3,429
D/Eレシオ(グロス)	0.91倍	1.05倍	1.09倍
D/Eレシオ(ネット)	0.08倍	0.12倍	0.09倍
自己資本比率	33.5%	30.7 %	29.2%

- (注1)①現金および現金同等物:「現金および預金」と「有価証券」の単純合算値から「預入期間が3か月を超える定期預金」を控除しております。
 ②有利子負債:「短期借入金」、「1年内返済予定の長期借入金」、「1年内償還予定の新株予約権付社債」、「リース債務」、「新株予約権付社債」、「長期借入金」
 ③自己資本:「株主資本」、「評価・換算差額等」
 ④D/Eレシオ(グロス):有利子負債/自己資本
 ⑤10/4期首(増資後)の負債合計には、負ののれん22億円を便宜的に含めております。
- (注2)「10/4期首(増資後)」の数値は、当連結会計年度期首の数値に2010年4月1日付の企業結合に係る会計処理および同日付の第三者割当増資約1,346億円を反映した数値です。

キャッシュ・フロー

(単位：億円)	2011年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	9ヶ月累計
営業活動による キャッシュ・フロー	△20	350	539	869
投資活動による キャッシュ・フロー	△144	△184	△390	△718
フリー・ キャッシュ・フロー	△164	166	150	151

II. 2011年3月期 下期および通期業績見通し

2011年3月期 通期業績見通し

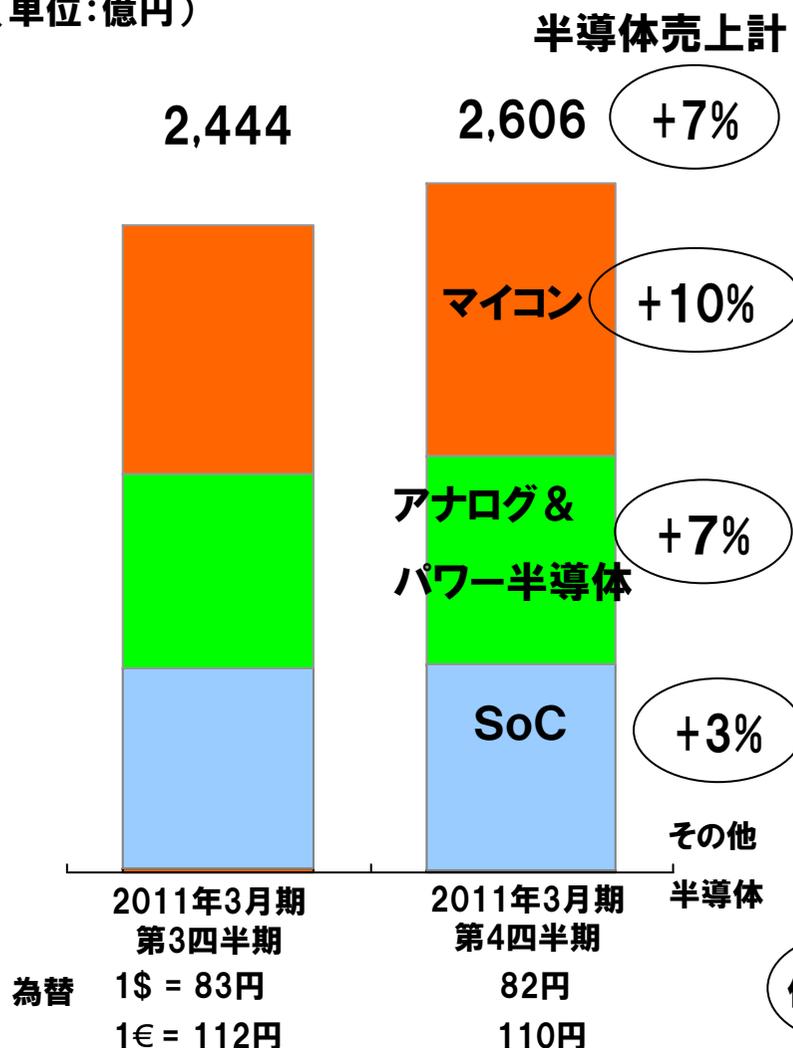
- 国内市場での需要回復が想定より弱く、売上高は下期および通期を下方修正。
- 営業利益は、統合シナジーの実現や原価低減により当初見込みから変更無し。

(単位:億円)	2011年3月期					前回発表比 (10/27)
	上期実績	第3四半期実績	第4四半期見通し	下期見通し	年間見通し	
売上高	5,875	2,752	2,873	5,625	11,500	△200
半導体売上高	5,250	2,444	2,606	5,050	10,300	△200
営業損益	7	34	29	63	70	-
経常損益	△78	11	17	28	△50	-
当期純損益	△412	△176	△212	△388	△800	-
1US\$=	90円	83円	82円			
1ユーロ=	116円	112円	110円			

下期半導体売上高の見通し

■ 第4四半期半導体売上高は、全製品群で増収

(単位:億円)



事業別売上概況(前四半期比)

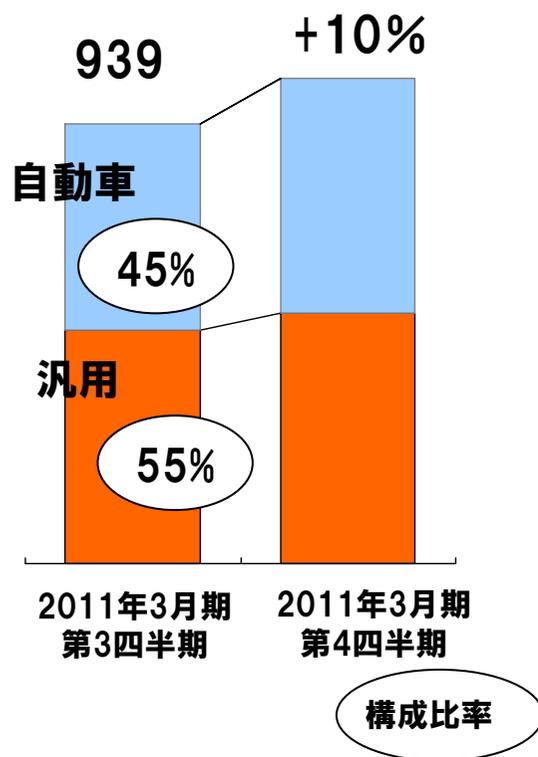
マイコン 3Q→4Q比 +10%	【↑】: 自動車は需要が回復、 汎用は堅調な需要が続く。
アナログ&パワー 半導体 3Q→4Q比 +7%	【↑】: 市場の回復に伴い需要が 増える。
SoC 3Q→4Q比 +3%	【↑】: PC分野向けは在庫調整 終了 カメラLSIは堅調持続。

マイコン事業 下期売上見通し

第4四半期事業分野別見通し(前四半期比)

マイコン事業の内訳

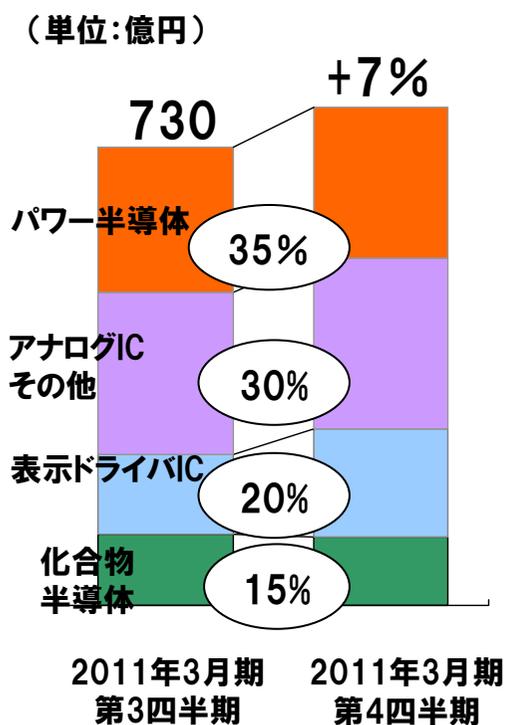
(単位:億円)



	市場動向	当社動向	
	第4四半期	第4四半期	
自動車分野			中国、新興国向けは引き続き好調。 国内向けは需要回復。
汎用分野			インバータ機器向けを中心に需要は 堅調の見込み。

アナログ&パワー半導体事業 下期売上見通し

アナログ&パワー半導体事業の内訳



構成比率

第4四半期事業分野別見通し(前四半期比)

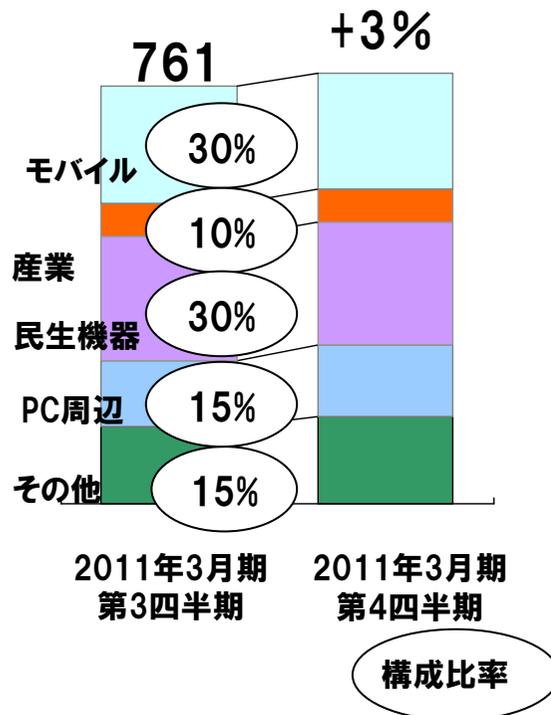
	市場動向	当社動向	
	第4四半期	第4四半期	
パワー半導体分野			民生・自動車分野向けで在庫調整が終了し、需要が回復。 PC分野向けは在庫調整が終了。
アナログIC分野			自動車向け(特に欧州)は引き続き堅調。 PC分野向けは在庫調整が終了。
表示ドライバIC分野			在庫調整が終了し、需要は回復。
化合物半導体分野			全般に需要は底打ち。

SoC事業 下期売上見通し

第4四半期事業分野別見通し(前四半期比)

SoC事業の内訳

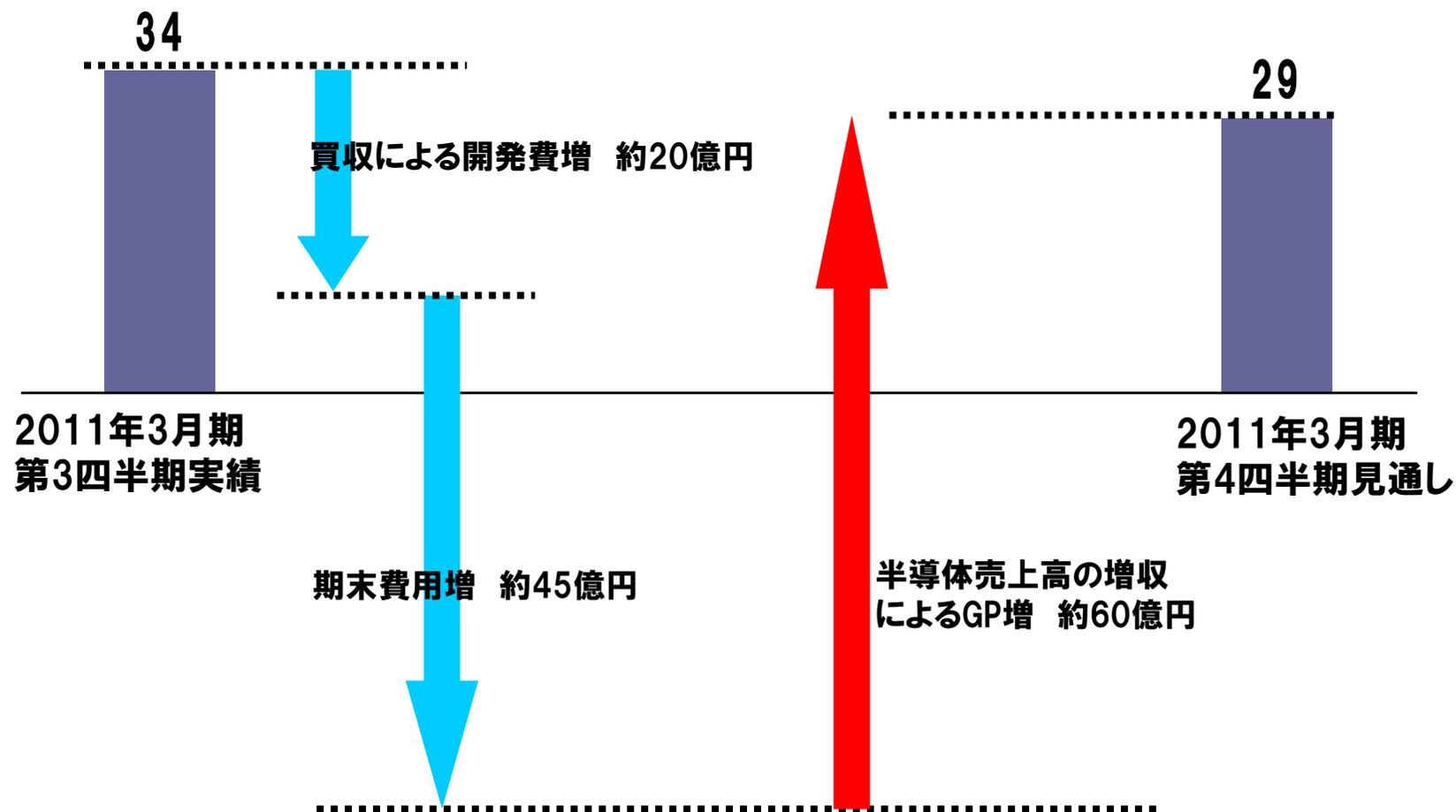
(単位:億円)



	市場動向	当社動向	
	第4四半期	第4四半期	
モバイル分野		➡	国内通信LSIの需要は減少。 カメラLSIはスマートフォン向け需要で堅調。
産業機器分野		➡	在庫の調整局面が継続し、需要停滞。
民生機器分野		➡	在庫調整が続き、全般的に需要停滞だが、STB(セットトップボックス)向けの需要が回復。
PC周辺分野		➡	PC分野向けは在庫調整が終了。 USB3.0向けの需要が好調。
その他	—	➡	ネットワーク向けメモリ需要回復。

2011年3月期 下期営業損益見通し(第3四半期、第4四半期)

(単位:億円)



100日プロジェクト進捗状況

100日プロジェクトで策定した施策は計画通り実施中

	主要施策	進捗状況
人的効率化対策	◆早期退職プログラム	➢1/17～2/15募集期間にて 実施中
	◆販売特約店等出向他	➢販売関係 実施済み 、他 実施中
	◆注力事業への社内シフト	➢早期立ち上げに向け教育 実施中
	◆生産構造対策に伴う人的効率化	➢以下の計画通り 実施中 公表可能な段階にて開示予定
事業・生産構造対策	◆生産体制の最適化 (先端プロセス/ファブネットワーク)	➢鶴岡、ローズビル工場にて減損 実施済み ➢外部ファウンドリ含めて生産ライン間での相互乗り入れ 実施中
	◆生産工場の再編	➢滋賀(5インチ)、高知(2階)、福岡など生産ラインの再編を計画通り 実施中
統合シナジーの実現	◆販売効率の向上	➢特約店商流の整理(30社⇒16社) 実施済み ➢販売拠点の統廃合 国内17→6拠点へ 実施済み 。(本社除く) 海外21→10拠点へ 実施済み
	◆他各種施策	➢製品の統合、設計技術力の向上、生産効率の改善等、計画通り 実施中

事業ポートフォリオの最適化に向けた各種施策についても計画通り**実施中**

2011年3月期業績予想に織り込んでいる特別損失770億円については変更無し

まとめ

- **第4四半期売上高については、第3四半期比で増収の見通し。**
- **通期で70億円の営業利益の達成を目指す。**
- **100日プロジェクトで策定した構造対策プランは、計画通り進捗中。**

RENESAS

ルネサス エレクトロニクス株式会社

© 2011 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.